至誠

渡邊

午前九時争議団ハ退職金ノ名目ヲ以テ西ノ中野、大道寺ノ幹部
(日本海員組合理事)先頭トナリ数百名隊伍ヲ組ミ(ドラ鐘饅頭ヲ携帯シ)桜子海岸広場ニ於テ
中野海員組合理事ハ議論ヲスルドコロ意味ニ於テ「会社側ノ田中ハ
誤魔ヲ許サズ益々結束ヲ堅固ニ開ハザルベカラズ」ト絶叫シ依ツテ持
参ノカドツツノ饅頭握飯ヲ腹ヲ造リ宜シク三隊団ニ分キ労働歌ヲ
高唱シ会社ヲ包囲セントスル意ヲ警吏ノ為メ解散ヲ命ゼラレ各自三々
伍々争議本部ニ引揚ゲタリ
会社ニ於テハ午後 重役会議ヲ開キ三日ノ回答要求ニ対スル
協議ヲナセリ、時ニ田中会長ヨリ武藤協調課長河田嘱託ハ会社重役
富永事務長事務所ト会見争議解決ニ関シ私見ヲ述ベタリ
午後十時(会社ニ於テハ重役会議終了後)山脇日本郵船参事ト
浜田日本海員組合副組長ノ下ニ派遣シ非公式的ニ争議協調ニ関シ

交渉スル事アリ此時会社ノ提案ハ最初ノ解雇手当ハ従来ノ倍額
増給ハ十一月一日ヨリ歳令ナスベキトノ事ナリシモ浜田ハ断ジテ如キ提
案ニ於テハ断ジテ承諾スル能ハズトテ跳付ケタル為メ山脇参事ハ
両重役ノ会見 浜田トノ会見ノ内容ヲ語リ協議スル処アリシガ結局
両三両四両者ヲ会ニ於テ 折衝ノ結果 三日午前四時遂ニ交
渉纏マラザルモノノ如シ

十月三日

争議本部ニ於テハ午前十時頃ヨリ幹部会ヲ開キ交渉委員ノ選定
ヲナシタリ
午後二時ヨリ労働者側浜田団長外十五名ハ船ノ手ノ職工ニ選ラシ
会社ヲ訪問シ午後三時新工場長参事会所田嘱託立会ノ二

財團法人 協調會
財團法人 協調會